

2019年3月期 第1四半期決算説明における質疑応答の概要

(2018年7月31日(火)、東京)

【グループ全体】

**Q. 1Qは減益だったが、グループ全体の進捗はどう捉えているか。**

A. 加工食品は減益だったが今後回復を見込んでおり、低温物流や畜産は順調に進捗している。

【加工食品】

**Q. 1Q 営業利益前期比 12 億円の増減要因を知りたい。**

A. 増益要因は若干あるが、減益要因として、「関係会社の業績影響額」が7億円、「減価償却費増」で2億円、「広告宣伝費」で1億円、残りはシステム費用や修繕費などである。

**Q. 1Qの減益を2Q以降どのような形で取り戻していくのか教えてほしい。**

A. 家庭用・業務用の販売拡大や、生産性の改善、マーケティング費用の効率使用などで取り戻していく。原材料・仕入コストも、若干プラスが出ると見ている。

**Q. 計画では下期のタイの業績は増益とみているのか。**

A. タイの減益影響は上期まで残る。加工食品事業の営業利益の上期・下期の内訳は出していないが、今期は下期の利益を強めに見込んでいる。

**Q. 家庭用調理品が好調な要因を教えてください。**

A. カテゴリー強化の施策を進め、商品力が認められているのではないかと。広告宣伝もタイムリーに実施し相乗効果が出ている。

**Q. 業務用調理品は減収だったが今後の見通しはどうか。**

A. 構造的に何かが変わったわけではない。去年は上期偏重の売上げだったが、今期は平準化される。引き続き中食向けを中心に販売拡大を図っていく。

【低温物流】

**Q. 低温物流の状況を教えてください。**

A. 保管需要は堅調で、平和島DCもスムーズに稼働している。全体としては人件費を中心にコスト上昇の影響を受けたが、集荷拡大や業務効率化などにより吸収し、順調に進捗している。

以上

※当文書は当日の質疑応答内容をすべて記録したのではなく、株式会社ニチレイが編集を加えております。